

【事例】
医療法人社団聖愛会
ぎおん牛田病院

【紹介商品】アイソカルサポート® バッグ

チーム一丸で取り組んだ 排便コントロール 業務見直しのきっかけにも

医療法人社団聖愛会ぎおん牛田病院(広島市安佐南区)では、看護師、介護士、管理栄養士がネスレ株式会社の高機能な食物繊維を高含有している流動食(「アイソカルサポート® バッグ」)を導入し、チームで排便コントロールに取り組み、下剤の使用を減らすとともに、院内の便臭の問題を解決するなど、さまざまな効果を生み出した。(撮影: 廣段 武)



■施設 DATA
医療法人社団聖愛会
ぎおん牛田病院
広島県広島市安佐南区
西原8-29-24
TEL: 082-850-3116
http://www.smile-seiaikai.com/

自院の理念と照らし 導入を決定する

医療法人社団聖愛会ぎおん牛田病院は、90床(地域包括ケア病棟入院料1が30床、療養病棟入院料1が60床)で、ポストアキュートとサブアキュートを担う医療機関として地域で大きな役割を果たしている。患者はADLが低い高齢者が多く、半数以上が経管栄養だ。低ADL

L経管栄養患者は慢性的な便秘が多く下剤で対応していたが、反応便により水様便状になることが多く、どんなに衛生状態に気を配っても院内に便臭が漂ってしまうのが悩みの種だった。誤嚥も多く、リスク面からも対応する必要性を感じていた。

そこで昨年9月に栄養科主催で「排便コントロールの重要性」と題した院内勉強会を実施。翌月には医師を対象に勉強会を兼ねて高機能な食物繊維PHGG(グアーガム加水分解物)を高含有している濃厚流動食品「アイソカルサポート® バッグ」の製品説明会を開催した。これは1.5g/mlの少量高エネルギーなのが特徴で、勉強会に参加した管理栄養士の松浦奈緒氏は「担当の方から製品の説明を聞き、使ってみたいと思いました」と話す。

今回の対象者は全フロアで16人ものほり、まずは患者の状態を考慮医師の指示のもと一部の患者の下剤を中止することとした。



左から法人事務局の日浦肇主任、介護士の四通ひとみ氏、上田真由美看護部長、熊谷旬子2階看護師長、管理栄養士の松浦奈緒氏

吊り下げ式なので、衛生面も安心だ



者もいた。腸内環境の悪化による腸内の有用細菌の減少が考えられたため、経腸栄養剤の使用に加えて腸内環境を整える必要があると推察した。そこで整腸剤や生菌製剤を処方し、徐々に効果が現れたという。

熊谷旬子看護師長は、「下剤で強制的に出していたことで、患者様の腸内環境を悪化させていたのだと気づきました」と振り返る。

効果の出にくい患者がいると、病棟のモチベーションが下がるが、それをどう乗り越えたのだろうか。上田真由美看護部長は、「排便コントロールに成功した患者様がいたら、その事例をほかのフロアにも伝え、共有することで、病院一丸となって取り組めました」と、成功の秘訣を語る。これにより、スタッフはモチベー

ションを保ちつつ取り組めたのだ。

当初の悩みであった便臭についても介護士の四通ひとみ氏は、「患者様の便の状態が良くなったのに合わせて、院内の臭いもなくなりました。水様の臭いはどうしても肌に残るので効果的でした」と話す。

取り組みの結果、ある患者の場合、下剤(ピコスルファートナトリウム)3本を使用していたがゼロになり、患者の身体的負担と薬剤費が削減された。別の患者ではこれまで下痢によって、おむつの使用量が増えていたが、使用量が減り、結果として、1カ月あたりのおむつ代が5000〜1万円減るとともに、介護者の手間をリハビリに振替えるなどの有効利用が可能になった。

さらに、副次的な効果として、今回の排便コントロール導入を通じて、職種の垣根を越え看護と介護の理解と連携が進んだという。

熊谷看護部長は、「排便コントロールを行うにあたって、改めて便の状態やオムツ交換の頻度に目を向け看護と介護で話し合い、一緒にオムツ交換をすることで、介護士が担っている業務の大切さを改めて実感することができました」と語る。また排便コントロールに取り組む

ことで、経営面にも効果があった。日浦主任は、「病院経営においても、CS(顧客満足度)とES(従業員満足度)のバランスは重要です。CSの視点で言うと、こうした製品を使うことで衛生環境が保たれ、患者様やご家族様に喜んでいただけ、地域からも支持される病院づくりにつながり、ESの視点で言うとナースコールで呼ばれる件数やオムツ交換の頻度が減ることにより業務負担の軽減につながります。経営面としては、コストだけではなく労働力の面においても製品効果を実感しています」と話す。

同院では今回の経験を糧に、さらに業務の改善に力を入れていく。



アイソカルサポート® バッグ

商品問い合わせ先
ネスレ日本株式会社ネスレヘルスサイエンスカンパニー
東京都品川区東品川2-2-20 天王洲郵船ビル20F
TEL: 03-5769-6229 http://nestlehealthscience.jp/

その理由を管理栄養士の松浦氏は、「それまで使っていたものに比べ、『アイソカルサポート® バッグ』は食物繊維の絶対量が少ないのに効果が出ている場合があります。配合されているPHGGのおかげではないかと話す。

PHGG(グアーガム加水分解物)は、インド・パキスタン地方で栽培されている「グアー豆」を精製分解してできる食物繊維で、同製品には1.5g配合されている。

アドバイスをもとに 腸内環境にも目を向ける

とはいえ、すぐに効果が出ない患